

本日の面会において黒川氏が用いる予定の引用記事、文献等について

平成 30 年 7 月 9 日

- ①更田原子力規制委が東電に迫る「踏ん切り」
FACTA Online2018 年 7 月号
- ②K. Kurokawa and R. Ninomiya “Examining Regulatory Capture:
Looking Back at the Fukushima Nuclear Power Plant Disaster,
Seven Years Later” University of Pennsylvania Asian Law
Review, Volume 13 (2018), Issue 2
- ③「規制の虜—グループシンクが日本を滅ぼす」黒川清著、講談社
(平成 28 年)
- ④“WANO calls on industry to build on progress after post-
Fukushima improvements”
- ⑤略歴（次頁）

以上

【略歴】

くろ かわ きよし
○黒 川 清

政策研究大学院大学、東京大学名誉教授

日本医療政策機構代表理事

元東京電力福島原子力発電所事故調査委員会 委員長

東大医学部卒。69-84年在米。79年UCLA内科教授。カリフォルニア州医師免許、米国内科専門医、同内科腎臓専門医。89年東大内科教授、96年東海大医学部長。日本学術会議会長、総合科学技術会議議員（2003-06年）、内閣特別顧問（06-08年）、WHOコミッショナー（06-08年）などを歴任。国際科学者連合体の役員・委員を務め、国際腎臓学会理事長、国際内科学会議会議長他。国会東京電力福島原発事故調査委員会委員長。現在、内閣官房健康・医療戦略参与、MIT Media Lab、コロンビア大学客員研究員、日本医療政策機構、グローバルヘルス技術振興基金（GHIT Fund）代表理事、World Dementia Council 委員、沖縄科学技術大学院大学学園理事、野口英世アフリカ賞委員長等。<<http://www.kiyoshikurokawa.com/>>

いし ばし さとし
○石 橋 哲

政策研究大学院大学客員研究員

元東京電力福島原子力発電所事故調査委員会 事務局調査統括補佐

1987年東大法卒、日本長期信用銀行（～98年9月）、シティバンク（～03年5月）、産業再生機構（～06年12月）を経て、07年より企業組織変革支援に従事。11年6月内閣官房東電経営財務調査タスクフォース企画官、同12月国会事故調査統括補佐。政策研究大学院大学客員研究員、わかりやすいプロジェクト（国会事故調編）代表等。